

# 事例研究報告

**特別支援学校中学部生徒がスムーズに  
朝の着替えに取り組むための支援**

# 生徒の実態

- ・好きな言葉でやりとりしたり、歌を歌ったりしてふれあうことが好き。
- ・登校時の体調により、活動に取り組むペースにムラが見られる。
- ・力加減の調節は難しく、細かい作業が苦手。
- ・着替えにおいて服を着る、ズボンを上げる等のスキルは獲得しているが、腕を上げて上着を着る等、苦手な動作がある。

### 朝の登校後の着替え

- ・着替え中、支援をする教員の支援待ちになったり、指示をしても活動に中々移行できなかつたりする場面が多かった。
- ・獲得している着替えのスキルはあるが、自発的にする場面があまり見られなかった。

## 教員の願い

- ・ 教員の支援を受けながらスムーズに着替えができるようになってほしい。
- ・ 自発的に着替えができる場面を増やしたい。
- ・ 体調の変化に左右されず、毎日一定のスピードで活動に取り組めるようになってほしい。



## アドバイザーからの助言

- ・ 登校後の疲れや不安定な気持ち影响着替えに影響しているため、着替えをする前に、生徒が楽しみにできる活動を取り入れ、気持ちを切り替えてから取り組むとよい。
- ・ 苦手な活動には、生徒にとって分かりやすい方法で即時に称賛を行い、できた時の達成感を高めるとよい。
- ・ 苦手な活動以外でも活動が止まってしまう場面では、積極的に身体的ガイダンスを行うとよい。
- ・ スケジュールを見直し、着替え終了後に生徒が好きな活動を入れ、着替えの意欲を高めるとよい。

# 助言を受けての見直し

- ・ 登校後のスケジュールを変更。  
変更前：トイレ→着替え→保健室→お手伝い  
→余暇→朝の会  
変更後：保健室→トイレ→着替え→お楽しみ  
→お手伝い→余暇→朝の会
- ・ 保健室に行くのが好きなので、保健室に投薬の薬を持って行く活動を登校後すぐに行うように変更。
- ・ 着替え後に「お楽しみ」の項目を追加し、本生徒が好きなやり取りを教員と一緒にできる時間を設定。
- ・ 活動が止まった時はすぐに身体的ガイダンスを行う。
- ・ 本生徒にとって苦手である「上着を着る」活動の場面では、できた直後に「グッジョブ」のかけ声とサムズアップポーズで称賛する。

# 記録方法と記録

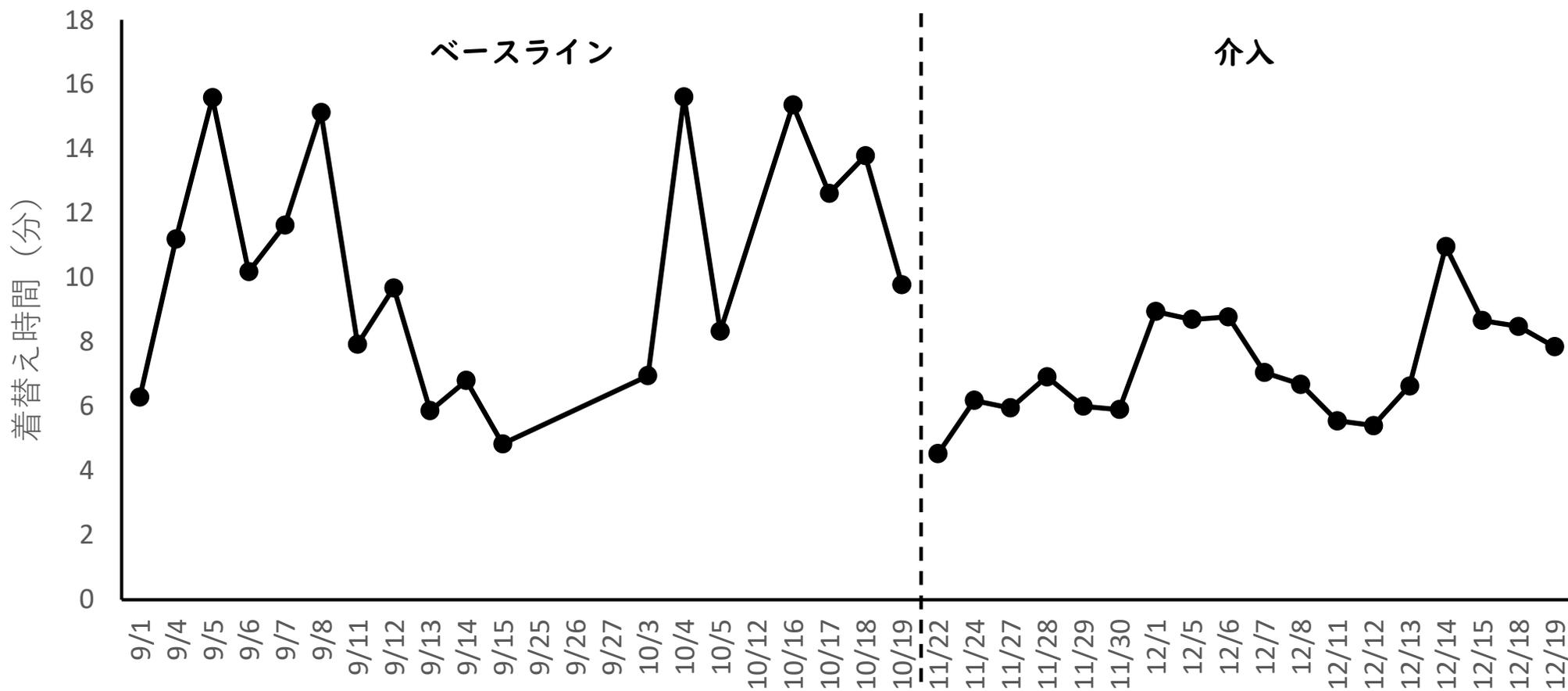
- ・ 着替えを始めてから終わるまでの時間を計り、点数化する。
  - 1～9分以内・・・1点
  - 10～14分以内・・・2点
  - 15分～19分以内・・・3点
  - 20分～24分以内・・・4点
  - 25分以上・・・5点
- ・ 着替えの工程を8工程に分けてそれを得点化し、教員の指示や合図を受け入れて取り組めた工程数を記録する。  
(①靴を脱ぐ②上着を脱ぐ③ズボンを脱ぐ④下着を脱ぐ  
⑤下着を履く⑥ズボンを履く⑦上着を着る⑧靴を履く)

# 記録方法と記録

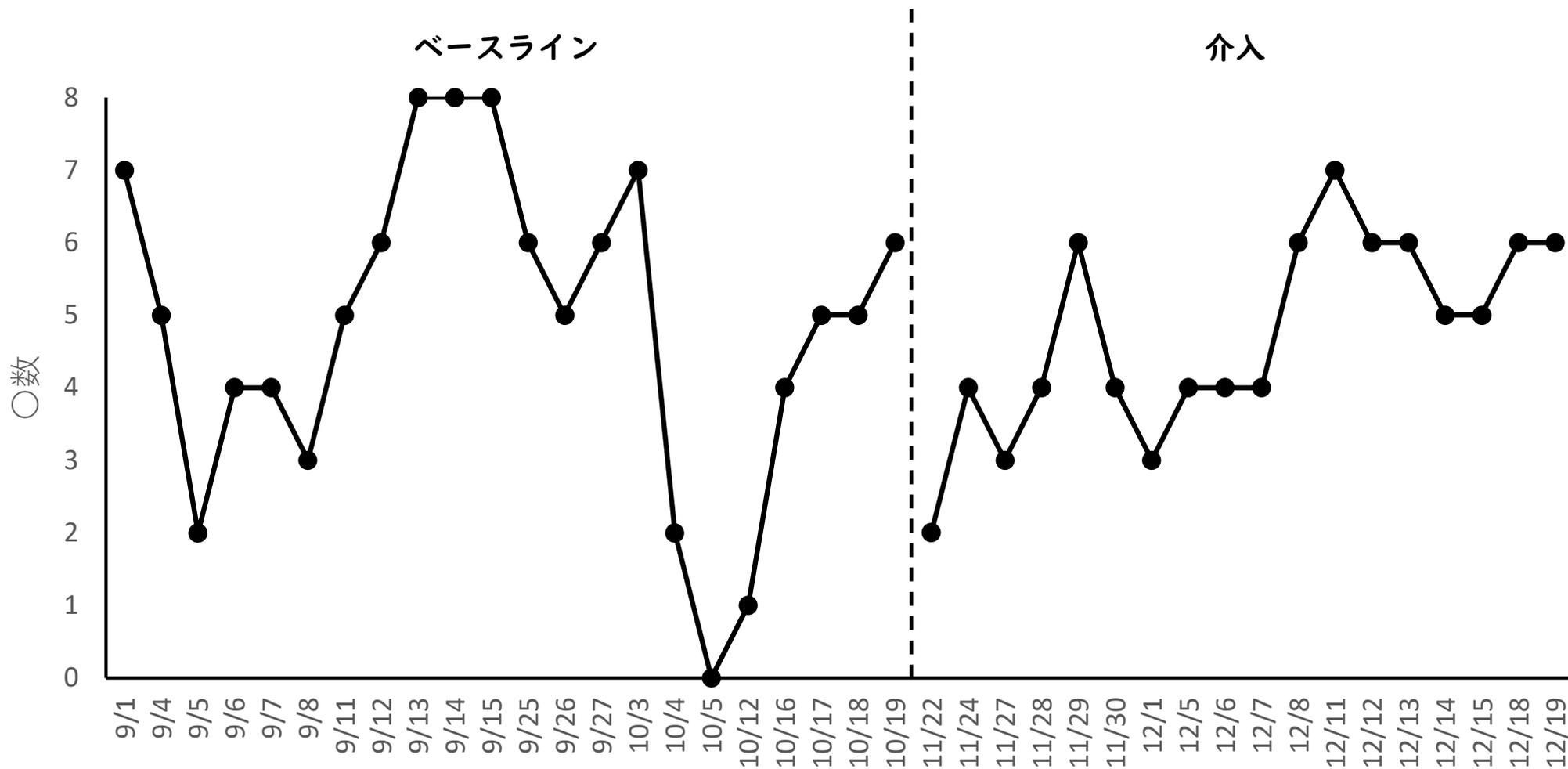
個別行動評価尺度ツール（記録用紙）

行動	評価	日付																		
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
着替えに時間がかかる。	25分以上	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	20-24分	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	15-19分	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	10-14分	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	1-9分	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
着替えの場面で、指示や合図を受け入れて着替えに取りかかる。	7-8個	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	5-6個	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	3-4個	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	1-2個	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	0個	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

# 着替えにかかった時間



指示や合図を受け入れて  
着替えにとりかかった工程数



# 指導の成果

- ・着替えにかかる時間が、**全体的に短くなった**。
- ・「お楽しみ」の項目を増やしたことで、教員と遊ぶことを楽しみに、着替えに**早く取り組もうとする様子**が見られた。
- ・**教員からの指示や合図がなくても自発的に着替えに取り組もうとする**ことが増えた。
- ・サムズアップポーズで称賛することによって、苦手とする活動も以前より**少ない支援で取り組める**ようになってきた。
- ・生徒自身からサムズアップポーズをして、**教員と楽しみながらコミュニケーション**を取ることができるようになった。



# 教員の変容

- ・生徒に伝わりやすい称賛方法や指導方法を意識することで、口答指示を減らし、メリハリをつけた指導ができるようになった。
- ・適切な距離感で生徒への指導や称賛をすることができた。
- ・着替え以外の指導場面でも、生徒に分かりやすい指導を行うことを意識することができるようになった。



# ここが成功のポイント

- ・ 自発的に着替えをすることで称賛される機会が増え、自分がしている活動が正しいということを感じ、自己肯定感が高まった。
- ・ 苦手な活動にも挑戦することで、その頑張りを称賛してもらい、その後楽しい活動が待っていることを理解できたことで、自発的に活動するきっかけとなった。

